



東京とどの実

北海道廳野付牛中学校
北海道廳立北見中学校
北海道北見高等学校
北海道北見北斗高等学校

(発行)
東京とどの実会事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島4-6-11
湯島ハイタウンA-207

http://www.tokyo-todonomikai.com

✉ y-maeda-go@mua.biglobe.ne.jp

☎ 090-8874-5239

Anniversary 60

「東京とどの実会」60周年記念祭の集い

2010年6月19日(土) 於/ 京王プラザホテル

第60回東京とどの実会の集いは、例年通り150名の「同窓生」が集い盛会に行われました。



半田会長(37期)挨拶

第60回東京とどの実会総会は6月19日(土)に開催され、会場となった京王プラザホテルには4期の吉見一郎さんから78期(平成15年卒)の村田孝樹さんまで150名余の同窓生が集いました。当番42期の平澤芳樹さんと奥村京子さんが司会の総会では白寿を迎えられた最高齢の吉見一郎さんに花束を贈呈し、その健康をお祝いしました。60年の節目となる記念祭は格調高い地唄舞(41期樋崎妙子さん、辻孝子さん)で始まり、ナレーター西村文江さん(47期)による進行のもと、ピアノ演奏(78期村田孝樹さん)、チェロ演奏(47期福村忠雄さん)、会場に展示された絵画(48期伊藤彰規さん)、絵本(40期長谷川知子さん)と多士済々なメンバーによるパフォーマンスに一同目と耳を集中させたひとときでした。続く懇親会は小山内清隆さん(26期)の乾杯の音頭ではじまり、各テーブルでは思いつきや近況報告に花が咲きました。また、劇団民芸の佐々木梅治さん(38期)、女優の沢田亜矢子さん(42期)も壇上にて挨拶をされ、一層の盛り上がりを見せました。恒例の「今日の日はさようなら」を全員で合唱し、来年の再会を期して散会となりました。



受付風景



白寿を迎えた吉見一郎さん

この度の東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く日本が復興していくことを祈念しております。

日本で初めてカーリングが行われたのは常呂町です。1998年開催の長野オリンピックから認知され始め、マリリンこと本橋麻里さんなどが所属していた「チーム青森」の活躍で人気が高まり始めました。最近では老若男女が楽しめる冬のスポーツとして競技人口が増えつつあります。今回ご紹介する藤澤五月さんは今年2月に行われた日本選手権において優勝した中部電力チームで要のスキップを務めています。創部2季目の新しいチームで活躍する藤澤さんを勤務先と練習場のある軽井沢町に訪ねました。



ソチ冬季五輪を目指して！

中部電力所属
藤澤五月さん(平成22年卒業)

卒業何期ですか?という問いかけに首をかしげる藤澤さん。86期といわれてもピンとこないくらい。昨年の卒業生です。常呂町出身の選手が多い中、藤澤さんは網走生まれ、生後まもなく引っ越して以来の北見育ち、そして北見北斗高校出身です。常呂町出身のお父さんの影響でお母さん、お姉さん、お兄さんも競技を行うカーリング一家の末っ子として生まれ、5歳からカーリングを始めました。最初は常呂町のカーリングホールで、後には北見市にある河西建設のカーリング場で練習に励み、北斗高校時代には世界ジュニア選手権に2度出場しています。もともと、カーリングが大好きで、ソフトテニス部に所属し(北斗にはカーリング部はない)、大いに高校生活をエンジョイした様。大学に進学して好きな英語を勉強したいと思っていたところ、創部した中部電力の監督に誘われ長野県へ。卒業生の殆どが進学する北斗にあって、2010年の就職1人と記録されているのはこの藤澤さんなのです。普段は中部電力佐久営業所で勤務しながらトレーニングを重ね、シーズンには競技に出場と、企業チームに所属してカーリングを行っています。アジアにおける3強は日本、韓国、中国でアジア予選では2位以内に入らないと世界選手権の切符は手に入らないとのこと。オリンピックには開催前3年間の世界選手権に出場し、

(参考) [2011年4月現在]

順位	国名	獲得ポイント
1位	スウェーデン	1085
2位	カナダ	1030
3位	中国	826
4位	デンマーク	702
5位	スイス	690
6位	ドイツ	610
7位	スコットランド	600
8位	アメリカ	515
9位	ロシア	484
10位	日本	387
11位	ノルウェー	274

順位で与えられるポイントのトータルで上位10カ国が出場出来ます。現在の日本は09年の世界選手権に出場できなかったため第10位ですが、藤澤さんは投げるストーンのその先にある3年後のソチ五輪を見据えて日夜練習に励んでいるのです。とはいっても、まだ19歳、今年20歳の誕生日を迎える藤澤五月さん。可能性は無限です。ソチの次の五輪は長いのです。北見町の選手生命は長いのです。北見っ子らしく「トリトン」のお寿司が好きという飾り気のない初々しい日本一のスキップは「北斗卒業生を代表してソチ五輪目指し頑張ります」と力強く宣言してくれて、インタビューを終えました。皆さん、オリンピック目標にするこの若き後輩をおおいに応援しようではありませんか。



地唄舞 樋崎妙子さん
辻孝子さん(41期)



ピアノ演奏 村田孝樹さん(78期)



チェロ演奏 福村忠雄さん(47期)



絵本展示 長谷川知子さん(40期)



乾杯発声 小山内清隆さん(26期)



記念祭進行役 西村文江さん(47期)



ピアノに合わせて皆で歌う



当番期(42期)の皆さん



(42期)沢田亜矢子さん



(38期)佐々木梅治さん



談笑風景

東京とどの実会 ホームページリニューアル

同窓生の皆さん、東京とどの実会のホームページをご存知ですか?

42期広川さんのご尽力でホームページが新しくなりました。「会員ページ」では会員の皆さんの活動を紹介し、各期の同期生交流会の写真も掲載しています。もちろん投稿も随時。活発な同窓生交流の手段として大いに活用してください。下記アドレスを入力するか「東京とどの実会」で検索するとすぐに見つけることが出来ます。母校北見北斗高校や北見市、札幌とどの実会や東京北見会ともリンクしています。

http://www.tokyo-todonomikai.com

「湯島天神から伝通院、後楽園へ」

水戸光圀と徳川の女性たち



湯島天神
総会当日午前10時、東京メトロ湯島駅地下改札口に16名が集合してから、「ミニ強行遠足」に代わるものとして始まったのが「東京歴史散策」。今回で5回目である。

地上に上がるとなかなかの好天である。例年6月の梅雨入り後に行われているにも関わらず、一度も雨に降られていない。このシンクスは今回も生きていた。急な石段を軽快に上がると湯島天神、言わずと知れた、学問の神様・菅原道真公を祀った神社である。本殿では結婚式が行われていた。「おめでとございます」の声に、参列の男性がニコッと笑みを返してくれた。思い思いに参拝し、境内の庭園を散策してから、次へ向かう。

歩を進めるにつれ、あちこちで会話の輪が出来、話に花が咲く。共通の知人、恩師、行きつけだったお店等々、初対面でも直ぐ接点が見つかった話題が転がって行く。北斗という「根っこ」を共有する同士ならではある。春日通りを10分弱歩くと、三代将軍徳川家光公の乳母、春日局（かすがのつぼね）の菩提寺、麟祥院（りんしょういん）に着



麟祥院

く。境内に入ると都心とは思えぬ静寂が漂っている。植込みのせいもあるが、気温が数度下がったような錯覚に襲われる。信心の希薄な人間でも神社仏閣に行くと、自然に何か厳肅な気持ちになるから不思議である。石畳を暫く歩くと、至る所に案内板があつて、苦もなく春日局のお墓の前に出た。立派だが、巨大でも豪華でもない。「無縫塔（卵塔）」という石の塔で、上部の四方に穴が空いている。「死んだ後も天下の政道を見守れるように」という遺言に基づいて建てられた。流石、江戸二百数十年の礎を築いた家光公の乳母である。山門を出て、春日通りに戻る。日差しがきつくなつて来た。日陰を歩きたいが、日が高く、お天道様にしっかりと見守られながらの行進となった。

本郷を過ぎ、小石川に入り、40分ほど歩いて善光寺坂の入口にある和菓子屋で饅頭を食べながら休憩をとる。東京では名所旧跡に限らず、ちょっとした観光地の周辺に必ずと言って良い程、菓子屋が店を出しているのが有難い。それだけ通年、人通りが絶えないということだろう。一休み後、善光寺坂をエッチラオッチラ登る。坂の名の由来となった善光寺を右に見てさらに上がったつてつべんに「伝通院」がある。この寺は、増上寺、寛永寺と並ぶ



小石川後楽園で記念撮影

やすくて、面白い。水と緑が豊富で、撮影適地がたくさんある中から、池一面に咲く花菖蒲をバックに記念撮影して、散策のフィナーレとした。大いに歩き、お喋りに精を出した半日だったが、疲れるのは未だ早い。本日のメインイベント「総会」会場の、新宿西口の京王プラザホテルへ向け、最寄りの飯田橋駅から都営大江戸線に飛び乗った。

（散策担当・47期 生駒）

◎ 今年の散策案内

（スカイツリーを眺めながら）
「向島百花園から隅田公園、水上バスで浜離宮へ」

東武伊勢崎線浅草駅から東向島駅経由「向島百花園」へ。ここは説明不要、植物園鑑賞を持参すると楽しみ倍増です。花の間から見えるスカイツリーが面白い。「隅田公園」散策後、浅草から水上バスに乗船。船上から眺める東京の景色も今年のウキ。「浜離宮恩賜庭園」の中にある船着き場で下船し、花を愛でた後、都営大江戸線汐留駅から都庁前に移動します。歩行時間は2時間30分程度を予定しています。



向島百花園



浜離宮恩賜庭園と大泉水

中国からの便り

（47期 山中純一）

東京とどの実会の皆様、ご無沙汰をしております。2010年7月から外国人に日本語を教える日本語教師となり今年1月から、中国浙江省平湖の日本語学校に勤務しています。今回は中国で体験した「交通事情」について現地レポートをします。

昨年10月、まだ横浜の日本語学校に勤めていた頃、下見にきました。帰路、宿泊所から上海浦東空港まで利用したバスが高速道路に入ったので、シートベルトを捜しました。でも、無いのです。見ると運転席にも無い。そして、携帯電話の着信音が鳴ると、なんと運転手が携帯を取り出したのです。でかい声でかなりながらの片手運転、げつ！と思う間もなく、前を見ると、山のように荷物を積んだリヤカーがセンターライン近くをよたよた走っています。バスの運転手がクラクションを鳴らしながら、車が結構走っている対向車線にセンターラインを大幅にはみ出しました。空港に着き、搭乗までの待ち時間、名高い人民広場と豫園に立ち寄りしました。人、人そして車、車、まさに犇めく様です。畏怖の念をおぼえたのは、某大学のラグビー魂を彷彿とさせる歩行者です。一切車を見ずに、ひたすら前へ突き進む姿、ぱりした姿勢、感動に震えて合掌する間もなく、すつと脇を抜けて行く黒い影



に鳥肌が立ちました。自転車ではありませぬ。電動モーター付きバイクです。狭い舗道を、三人乗りです。赴任後、この乗り物の扱い、免許御免の「原動機無し」自転車と知りました。時速30キロがせいぜいですが、日本人なら誰が見たって、原付だつちゆーの！それを免許なしの老若男女が舗道をガンガン走っているのです。赤塚不二夫をお松くんのホンカンさんならピストル乱射しています。

さて、写真は宿泊所前のバス停です。バスの始発、最終時刻は表示されていますが、発着時刻の表示なし。合理的かもしれません。アテにならない時刻が書いてあるより、その内来るだろうという位の大陸的な心構えの方が精神衛生上いいでしょう。バス代は2元つまり30円未満です。タクシイも安い。初乗り料金は確か5元です。3キロ位乗ってもせいぜい10元。でも、安い！と思わず、太っ腹な気分になりがちな日本人だと20元にポツタクラれます。



さて、次に舗道です。車椅子マークが付いたスロープが必ずあります。徹底した配慮に感心しました。しかしコンクリートブロックでできた舗道は大きく波を打ち、高低差20センチはザラです。さらに人生至る所に苦難があります。そして、更なる危険が待ち受けています。マンホールです。蓋が無い。外れているのじゃありません。無いのです。何も表示がありません。



それもあちこちです。知らずに夜道で落つてもしたら大怪我です。ドリフのコメントじゃあるまいし、シャレになりませぬ。次が信号機です。切り換えの持ち時間が30秒です。デジタル表示機でカウントダウンされます。この道路の幅は40メートル位あります。渡るときに駆け足じゃないと途中で赤に変わります。お年寄りや体の不自由な方は絶対に30秒では渡れませぬ。確か、日本で信号の切り換え時間を延そうという話が出たことがありますが、そんな話を中国人にすると、こんな答えが返って来ます。「そんな心配は無用です。筆者近影は彼の地での同僚の結婚式に出席した際撮ったものです。交通事故に遭わず、命がありましたら、中国国内の鉄道、そして飛行機の体験記を書いてみたいですね。この原稿が活字になる頃に原稿事故が完全に解決していること。そして、多くの罹災者の方が一日も早くでも早く安心して暮らせる日が来ることを祈ります。



編集後記

●我が故郷、北見の人口動向に注目してみた。小生が子供の頃昭和35年、

網走管内には約30の市町村、人口約42万人ぐらいいった。現在は平成の大合併もあって町村数が減り18市町村となり人口は約32万5千人である。当時北見市は約7万人であったと記憶するが、現在は12万8千人である。北海道の人口は減少しても札幌の人口は増加している。網走管内でもこの50年で25%の人口減少が進み、北見市の人口は管内の40%占めるほどに増加している。都市部への人口集中、地方の過疎化のミニ版がこの地区でも現象として捉えられる。この人口動向を見ながら、北見の発展、このオホーツク圏の発展を願ってやまない今日この頃である。

（40期・前田）

●カーリングの藤澤さんにインタビューするため軽井沢に行く道すがら辛夷の花がたくさん咲いていました。世間がどんなに騒がしくても、南から順番に花が咲いていきます。平和な気分を花を愛でる時が早くやってきますようにと願ってやみませぬ。

中国レポートを寄せていただいた山中さんお勧めは壇ふみ著「どうもいたしまし」と群「よこ」またふたたび東方見聞録の2冊。中国交通事情を著した珠玉のエッセイとのこと。

（47期・伊藤）

